

さあ、少し広い世界へ。

はじめての「預ける」を応援する、こども誰でも通園制度



保護者向けご案内ガイド

はじめの100か月



こども家庭庁HP



The central illustration depicts a diverse group of children and adults playing in a park. In the center, a man in a brown jacket and a woman in a blue jacket are walking with children. Other children are playing on a colorful play structure. Surrounding this central scene are seven circular vignettes, each with a different background color, showing various family and community activities:

- Top Left (Light Blue):** Two young boys are playing with a colorful stacking ring toy and blocks.
- Top Right (Light Red):** A woman is holding a baby, and another woman is standing next to her.
- Middle Left (Light Yellow):** A woman is sitting on the ground, holding a baby, while another woman stands next to her.
- Middle Right (Light Orange):** A man is standing next to a table where three children are sitting and playing with toys.
- Bottom Left (Light Red):** Two women are in a kitchen, preparing food on a cutting board.
- Bottom Right (Light Yellow):** A room with bookshelves, a table, and various toys, suggesting a playroom or library.

 NotebookLM

働く・働かないに関わらず、 すべてのこどもに開かれた扉。

1. 就労要件は問いません

就労要件は問いません

お仕事をしていなくても、育児休業中であっても利用できる新しい権利です。



2. こどものための制度です

親のリフレッシュはもちろん、こども自身の「良質な成育環境」を作るための制度です。

3. 全国共通のサポート

どこに住んでいても、社会全体であなたの子育てを応援する仕組みが始まります。

制度の基本ルール：誰が、どれくらい、どう使える？



対象

0歳6ヶ月～満3歳未満。（現在、保育所や幼稚園、企業主導型保育施設に通っていないお子さまが対象です）



時間

月10時間まで。（ライフスタイルに合わせて、時間単位で柔軟に利用可能です）



費用

1時間あたり300円程度が目安。
（※施設により給食費等の実費が別途かかる場合があります）

地域の安心できる施設が、 あなたの「もうひとつの居場所」に。



お住まいの市町村が認可・確認した、
基準を満たす安全な施設で実施されます。



対象となる施設の例：
保育所、認定こども園、幼稚園、小規模
保育事業所、地域子育て支援拠点など。



施設によっては、在園児と一緒に過ごす
「合同実施」や、専用の部屋で過ごす
「専用室実施」などの工夫があります。

ライフスタイルに合わせて選べる2つの使い方

定期利用

特徴

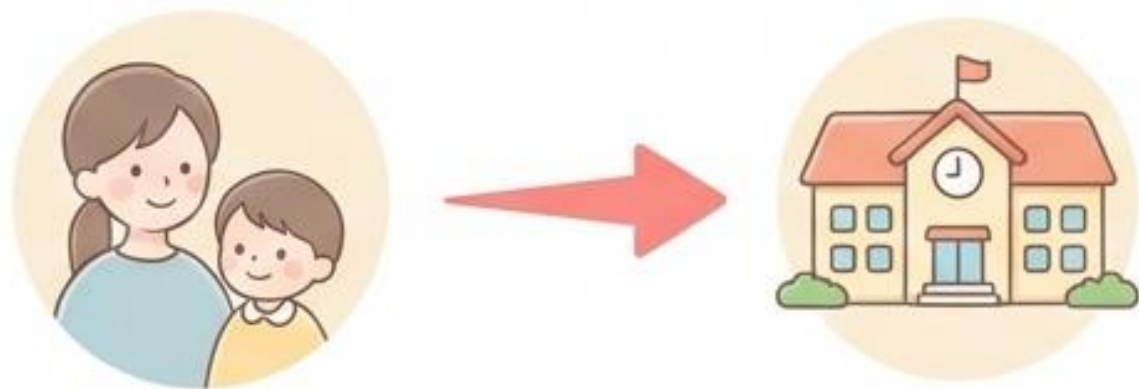
決まった園で、決まった曜日や時間に預ける。

メリット

先生や場所と深い信頼関係が築ける。
見通しが立ちやすい。

こんな方へ

こどもにじっくり環境に
慣れてほしい方。



柔軟利用

特徴

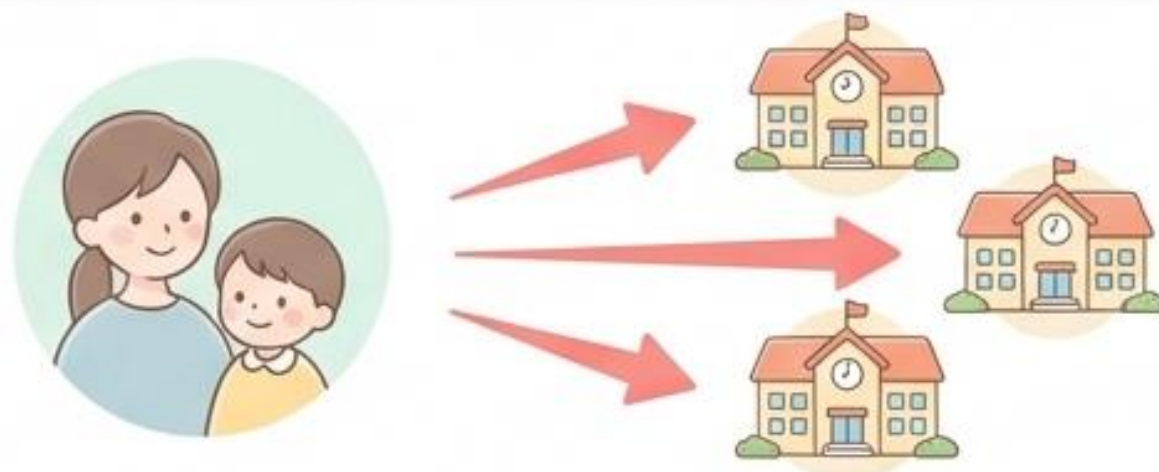
ニーズに合わせて、その都度、
空いている園を利用する。

メリット

里帰り出産時の利用や、こどもに合う
園を複数試すことができる。

こんな方へ

不定期にリフレッシュの時間が
欲しい方。



たとえば、こんなふうにご利用してみませんか？

リフレッシュ



リフレッシュ

「美容院に行きたい」「少しでも1人で休みたい」。親の心身の余白を作るための数時間。（柔軟利用）

集団生活の第一歩



集団生活の第一歩

「同年代のお友達と遊ばせたい」。保育園入園前の練習として、週に1回、2時間だけ通ってみる。（定期利用）

きょうだい育児



きょうだい育児

「下の子の健診や、上の子の行事に集中したい」。必要な日だけスポットで預ける。（柔軟利用）

「いきなり預けて泣かないかな？」 初めてを支える3つの安心

Point 1: 事前面談

預ける前に必ず面談を実施。
アレルギー、睡眠リズム、好きな
遊びなどをしっかり共有します。

Point 3: 親子通園の選択肢

場所見知りが強いお子さまの場合、
保護者と一緒に通って環境
に慣れる「親子通園」を取り入
れている園もあります。



Point 2: 短時間からのスタート

最初は1時間など、無理のない
短時間から慣らしていくことが
できます。

安心でつながる、ある1日の流れ



Before (予約・情報共有)

ポータル経由で「最近の様子」や「体調」を施設へ事前共有。



Morning (登園)

QRコードでスムーズにチェックイン。
笑顔でお預かり。



During (活動)

お子さまのペースに合わせた遊びと見守り。
(お昼寝や食事のサポートも)



Pickup (事後面談・お迎え)

今日の様子（誰と遊んだか、どんな表情だったか）を直接フィードバック。

ご利用までの4つのステップ

1



利用のための
パスポートを取得
(市町村への認定申請)

2



「つうえんポータル」
へ登録
(こどもの情報を
安全に預ける)

3



施設を探して
「事前面談」をする
(安心の準備)

4



スマホでカンタン
利用予約
(いよいよ通園！)

スマホひとつで、
ほとんどの手続きが
完結します。

Step 1 & 2: 認定と「つうえんポータル」の登録



認定申請:



お住まいの市町村窓口やマイナポータル等で「認定」を申請します。紙の認定証は届かず、メールでIDが発行されます。

ポータルへの登録:



発行されたIDで「つうえんポータル」にログイン。

情報を一度だけ入力:



アレルギー、かかりつけ医、生活リズムなど、大切な情報をポータルに登録。この情報は予約した園だけに安全に共有され、毎回手書きする手間が省けます。

Step 3: 施設を探して「事前面談」を予約



スマホで検索：

ポータル上で、通いやすい施設や空き状況を検索。



事前面談の予約：

初めて利用する施設とは、必ず事前に面談（原則対面）を行います。



何を話すの？：

施設での過ごし方や持ち物の確認だけでなく、ご家庭での育児方針や、お子さまの得意・不得意を丁寧にすり合わせる「安心のための時間」です。



Step 4: スマホで予約、当日はQRコードで登園



空き枠を見て予約:

面談が終わった施設は、ポータル上からいつでも利用予約が可能になります。（※施設側が予約を確定して完了）



当日のスムーズな登降園:

施設のタブレット等でQRコードを読み込むだけでチェックイン／アウトが記録されます。



お支払いも明快:

利用実績に基づき、各園のルールに従って利用料をお支払い。領収証もポータルで確認できます。

孤立した育児から、チームで行う子育てへ



「こども誰でも通園制度」は、単なる預かりサービスではありません。
つうえんポータルを通じて、保護者、保育者、そして地域（市町村）が情報を共有し、
お子さまの成長を一緒に見守る「子育てのチーム」を作る仕組みです。

さあ、少し広い世界への扉を開きましょう。



[ポータルサイトへ]



まずは、お住まいの市町村のウェブサイト、または「こども誰でも通園制度総合支援ポータルサイト」をご確認ください。

お子さまの初めての挑戦と、保護者の皆さまの笑顔を、
社会全体で応援しています。